学校教育目標：よりよく生きぬく釜っ子《よく考える子・たくましい子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより №１０
令和　７年１２月２６日（金）
１月
校　長　　玉　置　和　也

子どもたちはしっかり学んでいます

正月までを指折り数えられる日となり、年の瀬を感じるようになりました。学校では、今日冬休み前集会を終えました。４月から数えると１５４日の学習や活動を進めました。

さて、１１月２７日、２８日の２日間、６年生は修学旅行に行ってきました。１日目は奈良の法隆寺、東大寺の見学、奈良公園のグループ行動、２日目は、京都の二条城、金閣寺、清水寺の見学をしました。テレビ等で映し出されるように紅葉がとてもきれい、そして、外国からの旅行客がとても多かったです。修学旅行の名の通り、現地で学び旅行する２日間でしたが、子どもたちはとにかくガイドさんの話をよく聞き、建物などを見て、歩きながらでもメモを取っていました。するとガイドさんが「ここでの目的はしっかり見ること。見ることに集中しよう。」と声をかけてくださるほどでした。東大寺の大仏殿が目の前に現れた瞬間には、「でかっ。」と、その大きさに本当に驚きました。大仏殿の中に入り、奈良の大仏を拝み、また「でかっ。」と。社会の授業で学習して知ってはいるが、本物を見て、そのすごさを肌で感じました。また、法隆寺の五重塔の相輪（塔の頂部にある金属製の装飾、９つの輪が連なった部分）は、１０ｍあり、塔全体の３分の１だと、法隆寺を見終わったあとのバスの中でガイドさんが話してくれました。法隆寺はそうすると３０ｍくらいの高さになる。ガイドさんは「このお話が東大寺にも続きます。」と話されたが、子どもはよく聞いていて、東大寺のすぐそばに七重塔の相輪だけを発見。「あれか。」と言う子ども。ガイドさんから、東大寺の相輪は、「これだよ。」なんていう紹介もなかったがしっかり見ていました。ここでは、算数の力も必要、３分の１と聞き、頭の中で計算して、大きさをイメージする。東大寺の相輪は２６ｍ。七重塔が７５ｍ以上になることを想像していたと思います。２日目、最後の清水寺は混み具合が凄まじく、バスの進み具合も悪かったこともあり、見学と最後のお楽しみ、おみやげを選ぶ時間も短くなってしまいました。そんな中でも、子どもたちは持っているお金と買いたいものを頭の中で考えながら、グループで行動。そして、時計係がもっている時計の時刻を気にしながら、参道の人たちの間をすり抜けながら清水の坂を下り、買い物をして、集合時間までに集合場所まで戻ってきました。６年生だからできたこと、頼もしさを強く感じ、まさに、修学旅行、６年間学ぶ意味を感じました。最後に、今回の修学旅行は、日吉小学校の６年生と一緒にバスに乗り、旅行を共にしました。日吉小学校に到着する間際には、「ありがとう。」「またね。中学校で会おうね。」と声をかけあったり、手と手を触れあったりして、別れが名残惜しくなりました。そして、修学旅行が終わってしまうことも…。

小学校を卒業していく６年生に修学旅行があることに実感するとともに、無事、修学旅行に行くことができてよかったと思いました。次は、今の５年生が学びを重ね、積み上げ、来年、修学旅行に行くのだと思います。１年生から４年生も同じように一つずつ積み上げ、階段を上がっていきます。

明日から冬休みとなりますが、家族とふれあい、新たな願いをもつ、よい年をお迎えください。